

県内経済動向調査結果（平成22年11月分）

平成23年 1月14日
企業活性化・雇用緊急対策本部
（産業政策課）

概 況

県内経済は、総じて厳しい状況の中で、製造業を中心に持ち直しの動きを続けてきたが、円高等の影響により、改善の動きに一服感が見受けられる。

主な業種	状 況
製 造 業	持ち直しの動きを続けてきたが、円高等の影響により、改善の動きに一服感が見受けられる。 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比6.3%増、同6.9%増となった。3カ月先の業況見通しDIは▲30.6から▲31.0となった。
建 設 業	公共工事の減少により弱めの動きが続いている。 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比0.3%増、同17.9%減となった。3カ月先の業況見通しDIは▲56.3と横ばいであった。
小 売 業	家電の売れ行きが大幅に増加した。 売上高は前年同月比8.6%増、3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から▲57.1となった。
サービス業	運輸業が引き続き好調である。 売上高は前年同月比2.6%減、3カ月先の業況見通しDIは▲39.3と横ばいであった。

製造業の動向

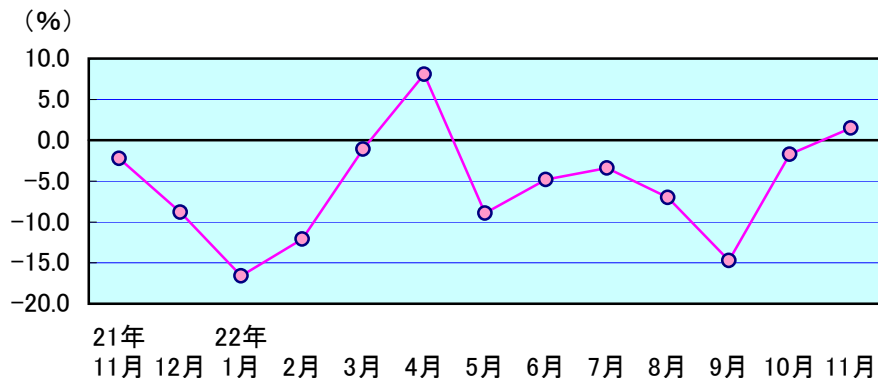
1 食料品

弱めの動きとなっている

生産額は前年同月比1.5%増。3カ月先の業況見通しDIは▲46.7から▲33.3となった。

一部の酒類製造業において、生産額が前年同月を上回り全体を牽引したものの、調味料製造業や惣菜製造業で受注が落ち込んでおり、全体としても弱めの動きが続いている。

食料品生産額前年同月比



	21年		22年		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	11月	12月	1月	2月									
食料品	-2.2	-8.8	-16.6	-12.1	-1.1	8.1	-8.9	-4.8	-3.4	-7.0	-14.7	-1.7	1.5

2 繊維・衣服

弱めの動きとなっている

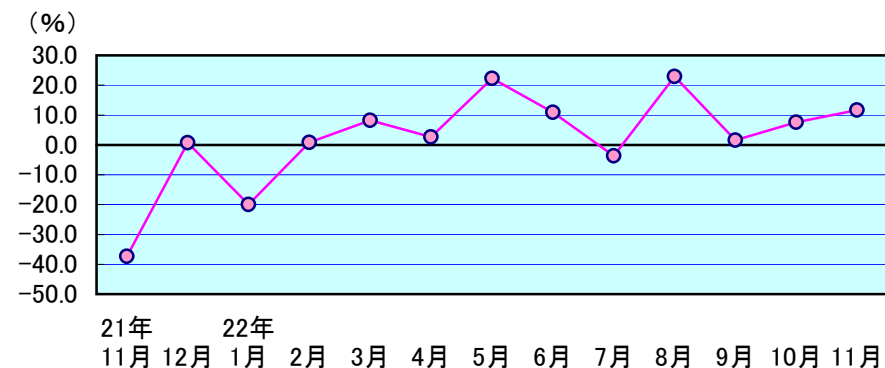
生産額、受注額はそれぞれ前年同月比11.7%増、同10.7%増。3カ月先の業況見通しDIは16.7から66.7となった。

一部企業において、中国工場の縮小に伴い生産の一部が国内にシフトされ、生産額が増加している。

また、3カ月先の業況見通しも好転としている企業が多く見受けられる。

しかし、依然として一昨年水準には達しておらず、引き続き弱めの動きとなっている。

繊維・衣服生産額前年同月比



	21年		22年		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	11月	12月	1月	2月									
繊維・衣服	-37.3	0.7	-20.0	0.8	8.2	2.7	22.3	10.9	-3.7	22.9	1.6	7.6	11.7

3 木材・木製品

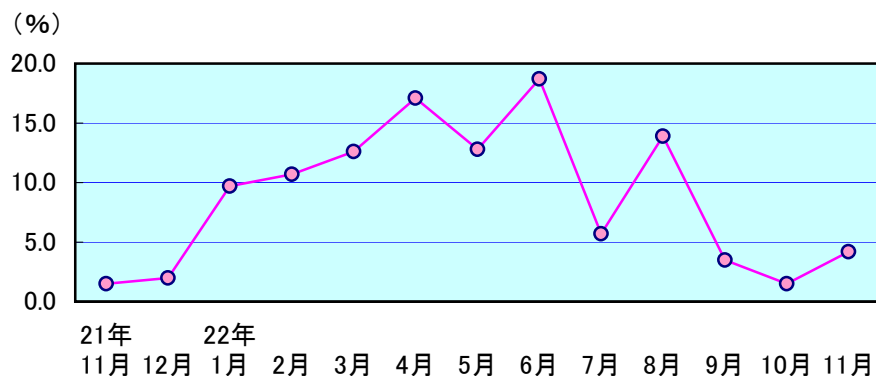
横ばいとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比4.2%増、同12.0%増。3カ月先の業況見通しDIは▲41.7から▲50.0となった。

合板において、一部企業で販売単価が値上がりしたことから、全体の生産額が前年同月を上回っている。

なお、県内の新設住宅着工戸数は3カ月ぶりに前年同月を上回ったものの依然として低水準であり、住宅市況の落ち込みが懸念される。

木材・木製品生産額前年同月比



	21年 11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
木材・木製品	1.5	2.0	9.7	10.7	12.6	17.1	12.8	18.7	5.7	13.9	3.5	1.5	4.2

4 鉄鋼・金属製品

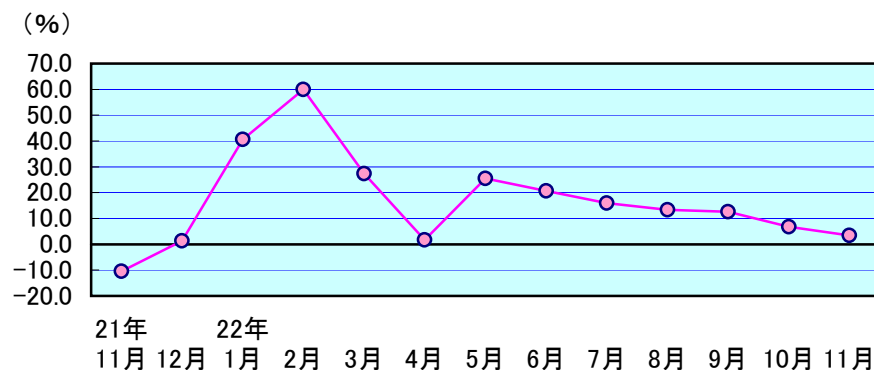
弱含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比3.4%増、同18.3%減。3カ月先の業況見通しDIは▲9.1から10.0となった。

産業設備関連の一部企業で受注件数が減少しているものの、機械関連や鋼管関連の一部企業で受注が好調に推移しており、全体の生産額は前年同月を上回っている。

しかし、半数以上の対象企業が前年同月を下回っており、弱含みの状況が続いている。

鉄鋼・金属生産額前年同月比



	21年 11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
鉄鋼・金属	-10.5	1.3	40.6	60.0	27.3	1.7	25.5	20.7	15.9	13.3	12.6	6.8	3.4

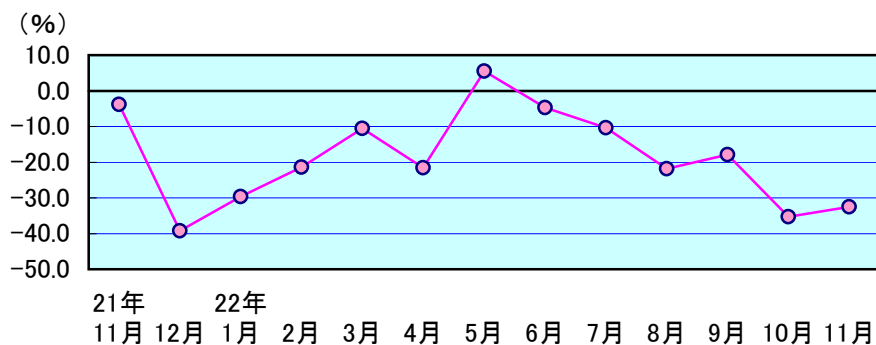
5 一般機械

弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比32.5%減、同7.8%減。3カ月先の業況見通しDIは0.0から▲62.5となった。

産業機械設備や工作機械などで受注動向が思わしくなく、全体的にも生産額が前年同月を下回っており、弱めの動きが続いている。

一般機械生産額前年同月比



	21年 11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
一般機械	-3.8	-39.2	-29.6	-21.4	-10.5	-21.6	5.5	-4.7	-10.4	-21.8	-17.9	-35.3	-32.5

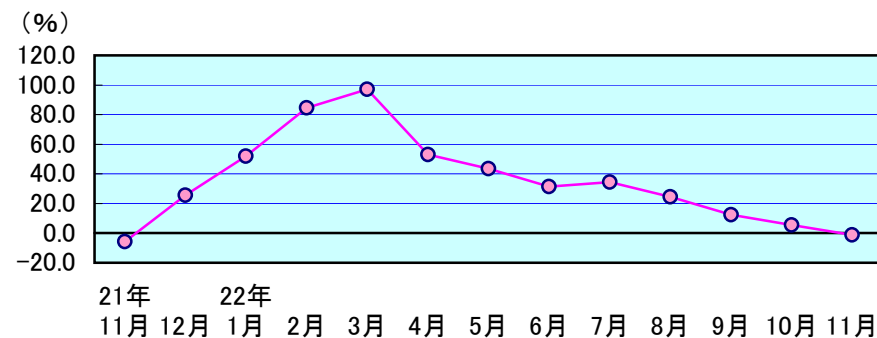
6 電気機械

横ばいとなっている

生産額、受注額は、それぞれ前年同月比1.2%減、同0.1%増。3カ月先の業況見通しDIは▲63.2と横ばいであった。

電子部品組立関連などで生産額が堅調に推移しているものの、海外製品へのシフトにより受注が減少している企業が見受けられるなど、12カ月ぶりに前年同月を下回った。

電気機械生産額前年同月比



	21年 11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
電気機械	-5.7	25.6	52.0	84.5	97.2	53.1	43.6	31.4	34.4	24.5	12.4	5.5	-1.2

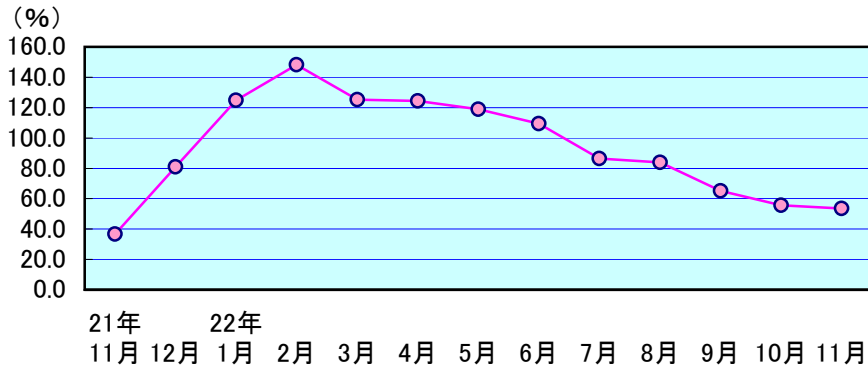
7 輸送機械

回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比53.6%増、同46.0%増。3カ月先の業況見通しDIは▲33.3から▲50.0となった。

国の補助事業終了に伴う生産量の減少を懸念していたが、その影響は少なく、全体の生産額は堅調に推移している。

輸送機械生産額前年同月比



	21年		22年		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	11月	12月	1月	1月										
輸送機械	36.7	80.9	124.8	148.1	125.3	124.4	118.8	109.5	86.5	83.9	65.1	55.6	53.6	

8 精密機械

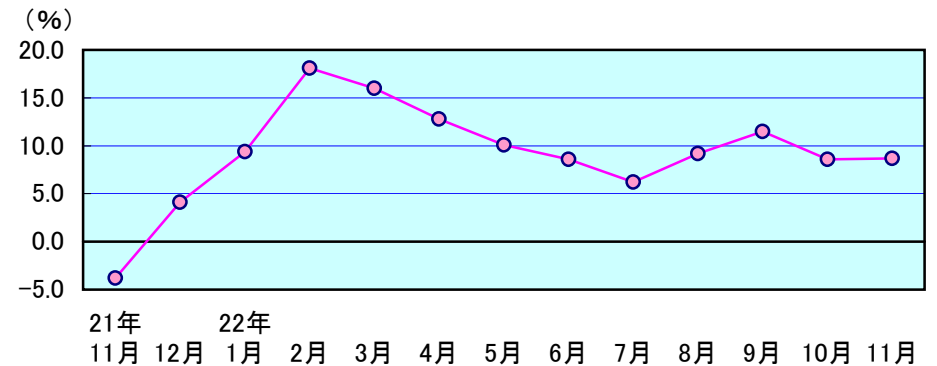
回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比8.7%増、同8.4%増。3カ月先の業況見通しDIは0.0と横ばいであった。

光ファイバー関連部品やデジタルカメラ関連部品、医療関連商品など、総じて生産額が増加している。

また、一部企業において生産ラインの増設を計画しており、好調さが伺える。

精密機械生産額前年同月比



	21年		22年		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	11月	12月	1月	2月									
精密機械	-3.8	4.1	9.4	18.1	16.0	12.8	10.1	8.6	6.2	9.2	11.5	8.6	8.7

建設業の動向

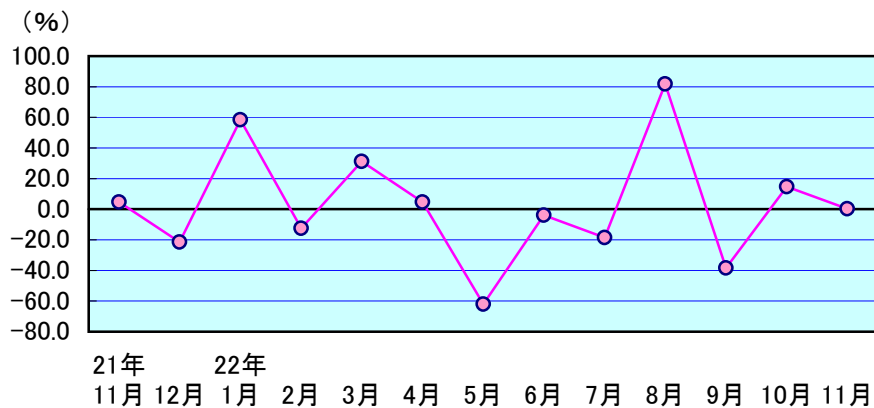
建設業

公共工事の減少により弱めの動きが続いている

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比0.3%増、同17.9%減。3カ月先の業況見通しDIは▲56.3と横ばいであった。

一部企業で受注額が前年同月を大幅に上回っているものの、全体的な公共投資は減少傾向にあることから、弱めの動きが続いている。

建設業受注額前年同月比



	21年 11月	21年 12月	22年 1月	22年 2月	22年 3月	22年 4月	22年 5月	22年 6月	22年 7月	22年 8月	22年 9月	22年 10月	22年 11月
建設業	4.7	-21.5	58.5	-12.5	31.3	4.7	-62.0	-3.8	-18.5	81.9	-38.5	14.8	0.3

小売業の動向

1 衣料品

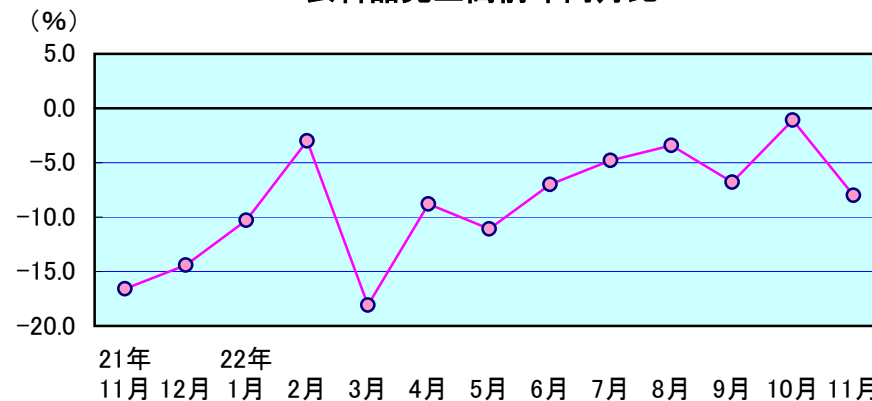
弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比8.0%減。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から▲100.0となった。

一部企業で冬物衣料に動きがあり、売上額が前年同月を上回っているものの、全体としては売上額が前年同月を下回っており、総じて厳しい状況が続いている。

また、全ての対象企業で3カ月先の業況見通しは悪くなるとしており、今後の動向が懸念される。

衣料品売上高前年同月比



	21年 11月	21年 12月	22年 1月	22年 2月	22年 3月	22年 4月	22年 5月	22年 6月	22年 7月	22年 8月	22年 9月	22年 10月	22年 11月
衣料品	-16.6	-14.4	-10.3	-3.0	-18.1	-8.8	-11.1	-7.0	-4.8	-3.4	-6.8	-1.1	-8.0

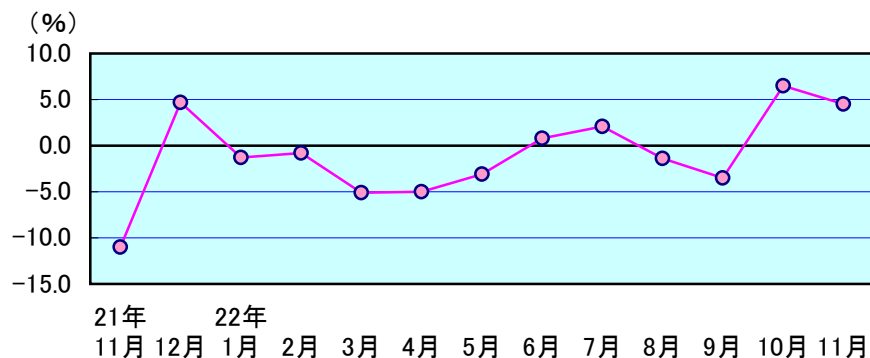
2 身回品

弱含みとなっている

売上高は前年同月比4.5%増。3カ月先の業況見通しDIは▲42.9から▲50.0となった。

一部企業で季節商品の売れ行きが好調なことから売上額が前年同月を上回るなど、全体としても前年同月を上回っているものの、依然として状況に変化はなく、弱含みとなっている。

身回品売上高前年同月比



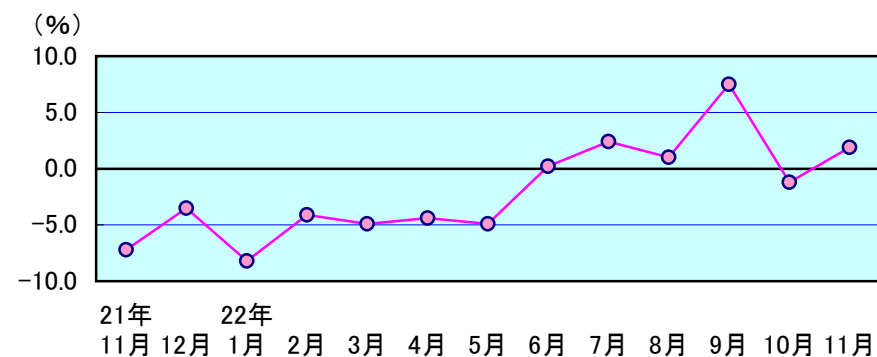
3 飲食料品

横ばいとなっている

売上高は前年同月比1.9%増。3カ月先の業況見通しDIは▲53.8から▲38.5となった。

客単価の低下が見受けられるものの、コンビニや一部スーパーにおいて、たばこの売上げが回復したことから、売上額は再び前年を上回った。

飲食料品売上高前年同月比



	21年 11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
身回品	-11.0	4.7	-1.3	-0.8	-5.1	-5.0	-3.1	0.8	2.1	-1.4	-3.5	6.5	4.5

	21年 11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
飲食料品	-7.2	-3.5	-8.2	-4.1	-4.9	-4.4	-4.9	0.2	2.4	1.0	7.5	-1.2	1.9

サービス業の動向

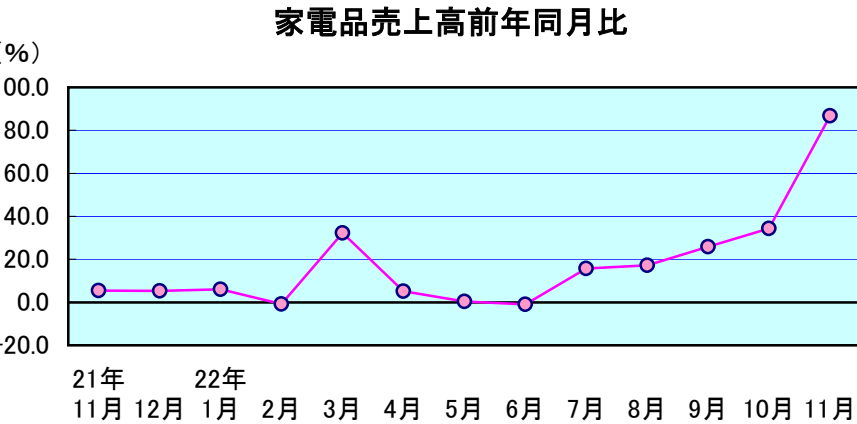
4 家電品

エコポイント対象商品の売れ行きが大幅に増加した

売上高は前年同月比86.8%増。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から▲75.0となった。

家電エコポイント半減に伴う駆け込み需要により、薄型テレビなどのエコポイント対象商品の売れ行きが好調であり、売上額は前年同月を大幅に上回った。

しかし、今後、家電エコポイント制度が縮小されることから、先行き見通しが懸念される。



	21年		22年		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
家電品	5.4	5.3	6.1	-0.8	32.3	5.1	0.4	-1.0	15.7	17.2	25.9	34.3	86.8	

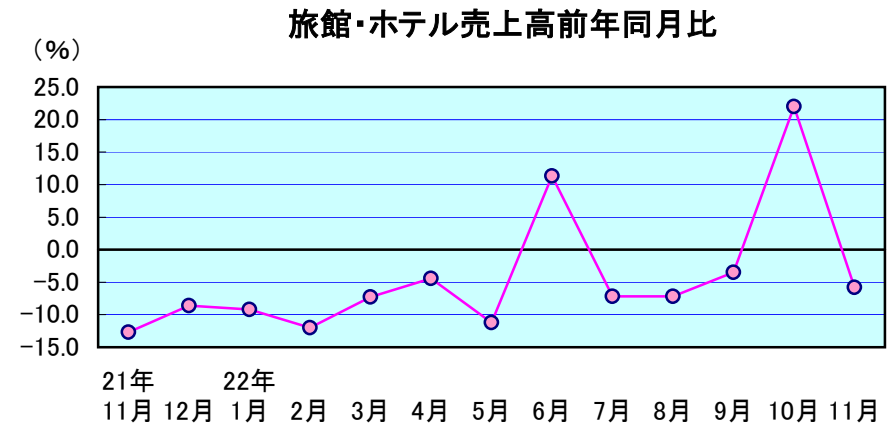
1 旅館・ホテル

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月5.8%減。3カ月先の業況見通しDIは▲53.3から▲46.7となった。

宿泊部門及び婚礼部門で売上額を落とした企業が多く見られ、全体として前年同月を下回っている。

総じて見れば、弱めの動きとなっている。



	21年		22年		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
旅館・ホテル	-12.7	-8.6	-9.2	-12.0	-7.3	-4.4	-11.2	11.3	-7.2	-7.2	-3.5	22.0	-5.8	

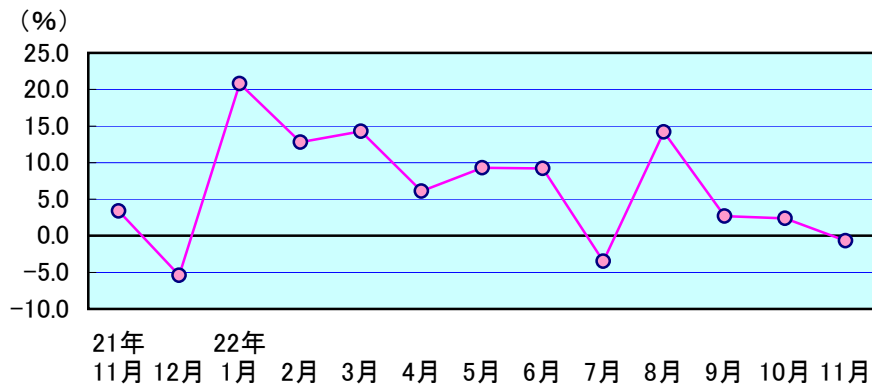
2 その他サービス

やや弱含みとなっている

売上高は前年同月比0.7%減。3カ月先の業況見通しDIは▲23.1から▲30.8となった。

一部運輸業で、自動車関連部品の生産増に伴い貨物輸送量が増加しており、引き続き好調を維持しているものの、コンピュータ関連で受注の減少が見受けられ、全体として売上額は前年同月を下回った。

その他サービス業売上高前年同月比



	21年 11月	21年 12月	22年 1月	22年 2月	22年 3月	22年 4月	22年 5月	22年 6月	22年 7月	22年 8月	22年 9月	22年 10月	22年 11月
その他サービス	3.4	-5.4	20.8	12.8	14.3	6.1	9.3	9.2	-3.5	14.2	2.7	2.4	-0.7